

平成28年3月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	平成28年3月25日(金)		
2 開会及び閉会	開会	14時03分	
	閉会	14時58分	
3 出席委員	委員長	東 條 光 彦	
	委員	奥 津 晋	
	委員	塩 田 澄 子	
	委員	藤 原 佳 代 子	
	委員(教育長)	山 脇 健	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	渡 辺 和 夫	教育次長	植 田 朋 哉
統括審議監(企画調整担当)	佐々木 辰 昭	審議監(教育人事財務担当) (人事財務課長事務取扱)	石 井 雅 裕
審議監(保健体育担当) (保健体育課長事務取扱)	長 畑 智	審議監 (こども企画総務課長事務取扱)	小 西 洋 史
教育企画総務課長	赤 野 政 治	学校施設課長	竹 本 幹 也
指導課長	岡 林 敏 隆	指導課教育支援担当課長	松 浦 敏 之
保健体育課課長代理	泉 利 絵	生涯学習課長	安 信 卓
スポーツ振興課長	畑 太 志	教育企画総務課課長補佐	杉 原 光 治
人事財務課課長補佐	渡 邊 清 治	地域子育て支援課課長補佐	田 中 光 彦
事務局(教育企画総務課主査)	生 田 裕 宣	事務局(教育企画総務課主任)	大 西 正 記
5 議題及び結果			
報告第9号	専決処理の報告(市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について)		承認
報告第10号	専決処理の報告(市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について)		承認
報告第11号	専決処理の報告(市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について)		承認
報告第12号	専決処理の報告(市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について)		承認

第 6 号議案	て) 岡山市教育振興基本計画における施策の成果指標の目標値の改定に 可 決 ついて
6 教育長等の報告 [平成28年2月13日(土)～平成28年3月11日(金)]	
2/17 2/17 2/18 2/18  2/19  2/20 3/5	こころの劇場 平成27年度第3回岡山市問題行動等対策委員会 こころの劇場 こらぼミーティング(初任者研修講座)  県公安委員等との意見交換会  岡山市学校支援ボランティア「学生シンポジウム」 岡山市防災教育フォーラム  指導課 指導課 指導課 教育企画総務課 教育研究研修センター 教育企画総務課 指導課 生涯学習課 地域子育て支援課
奥津委員 指導課長  奥津委員 指導課長  教育長  委員長 教育企画総務課長  塩田委員 教育支援担当課長  委員長 教育支援担当課長  委員長  藤原委員 生涯学習課長  藤原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ こころの劇場はどのような内容であったか。</li> <li>○ こころの劇場は主に小学校6年生の子どもたちが、本物の舞台を観劇し、豊かな心を育むというものであり、平成21年度から毎年行っている。劇団四季の舞台を観劇したものである。今年度は65校の小学校が参加を希望し、計3回に分かれて観劇した。学校の中にはオリエント美術館などカルチャーゾーンを合わせて見学するという校外学習を行ったところもある。</li> <li>○ 希望のあった学校は全て参加できたのか。</li> <li>○ 残念ながらインフルエンザの蔓延で参加できないクラスが2つほどあったが、他は全て参加できた。</li> <li>○ 私も参加したが、「人間になりたかった猫」という演目で、子どもたちにもストーリーが分かりやすいものであった。</li> <li>○ こらぼミーティングは私が参加したものだったと思うが、どうであったか。</li> <li>○ 委員長を講師として、100人程度の初任者を対象とした研修を開催した。内容は、主に職場でストレスをためないようにというものであった。</li> <li>○ 県公安委員等との意見交換会はどうであったか。</li> <li>○ 今回、岡山市が招待され、岡山市の問題行動の現状と、県の問題行動の現状を相互に報告し、どういう対策をとっているかということ話し合った。特に県は学校警察連絡室が立ち上げられ、学校と警察の連携がうまく図られ、対応が進んでいるということであった。</li> <li>○ 例えば、それぞれの持っている情報をつきあわせて、分析をするという話が出なかったのか。</li> <li>○ そこまで立ち入った内容にはなっていない。それぞれの取組をかいつまんで情報交換を行った。</li> <li>○ お互いを知り合うという意味でそういうことは必要だと思うが。それぞれが独自で持っている情報がうまくつながっていないため、バラバラに動いているという風に映ってしまう。今後は踏み込んで、日常的に情報共有ができれば良いと考える。</li> <li>○ 岡山市学校支援ボランティア「学生シンポジウム」はどうであったか。</li> <li>○ 当日は岡山大学で開催し、学生88名、大学・行政関係者24名であった。第一部では学生の体験談と受け入れ先の学校の感想を話し合い、第二部では学校ボランティアの悩みをグループワーク形式で話し合った。学生ボランティアは、一人で行くので、他の人と情報の共有ができ、有意義であったとの感想が多かった。</li> <li>○ 行政からも大勢の職員が出席し盛り上がった。総合教育会議でこれからしよ</li> </ul>

<p>塩田委員 生涯学習課長 塩田委員</p> <p>生涯学習課長 教育長</p> <p>委員長</p> <p>奥津委員 地域子育て支援課課長補佐</p>	<p>うとしていること分野になるかと思うので、意義あるものだったと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学生ボランティアのリピータ率はわかるか。</li> <li>○ 学生ボランティアは毎年変わる。把握していない。</li> <li>○ こういう活動が好きな学生はいるので、ワークショップなどをすると問題点も把握できる。それが代々引き継がれていくと良い形のものができるのではないか。1年間で終わりではなく、核になるような人を発掘することも必要ではないか。</li> <li>○ 次のステップでグループ化ということも想定しているので検討したい。</li> <li>○ シンポジウムは学生が主体となって行っている。6大学からそれぞれ2名ずつ実行委員会へ入っているの、うまく組織化していけば狙った効果が得られるのではないかと思う。</li> <li>○ 活動が個別的になりがちである。ずっと続けている学生もいるが、続けてやっているからと言って、必ずしも全体が見えていない。そこの整理が必要。</li> <li>○ 防災教育フォーラムの内容と参加者はどうか。</li> <li>○ 14公民館、17会場で防災キャンプを実施した。その中から代表3館の実行委員の方に発表してもらった。県の災害ボランティアコーディネーターの方に講演をしてもらった。今年度初めて小学校長に事例発表をしてもらい、学校と連携することが大切だと再認識してもらった。 参加者は広く市民の方から募集したが、55人であった。</li> </ul>
<p>7 議事の概要</p>	
<p>委員長</p> <p>全委員 委員長 全委員 委員長 全委員 委員長</p> <p>委員長</p> <p>全委員 委員長</p> <p>人事財務課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3月定例岡山市教育委員会を開催する。</li> <li>○ 本日の傍聴希望者は1名。入室してもらってよいか。</li> <li>○ &lt;承認&gt;</li> <li>○ 日程第1, 会期は本日1日限りとしてよいか。</li> <li>○ &lt;承認&gt;</li> <li>○ 日程第2, 2月定例会及び3月臨時会の議事録に問題はないか。</li> <li>○ &lt;承認&gt;</li> <li>○ 日程第3, 教育長等の報告, 事業報告について質問はないか。 (会議録6「教育長等の報告」に記載)</li> <li>○ 議事に入る前に会議の公開, 非公開についてお諮りする。 日程第4の報告第13号は, 任免, 賞罰等職員の身分取扱いその他人事に関する事項として, 会議規則第9条第1項第1号に該当するために非公開としたと思うが, いかがか。</li> <li>○ &lt;承認&gt;</li> <li>○ それでは, 日程第4の報告第13号は, 非公開と決定する。 報告第9号を人事財務課から報告願う。</li> <li>○ 資料の1ページ「報告第9号専決処理の報告について」をご覧いただきたい。 このたび, 平成27年度岡山市一般会計補正予算(第5号)のうち, 教育委員会分の教育費予算案への同意について, 教育委員会に付議する時間的余裕がなかったため, 3月3日に専決処理したものである。 内容につきましては, 資料の2ページ「平成27年度一般会計補正予算(第5号)について」をご覧いただきたい。 第10款 教育費の教育委員会分の補正前の額263億4,604万9千円に対し, 3億8,229万2千円を加え, 補正後の額を267億2,834万1千円にしようとするものである。 今回の補正予算は, 平成27年度の最終補正として, 大きく4種類のものが</li> </ul>

ある。

1つ目として、国の緊急経済対策を受けて、耐震改修・改築整備事業で28年度に予定していたもののうち、小・中学校それぞれ7校ずつを前倒ししようとするもの、2つ目として、学校教育施設等整備基金において、民間委託による人件費等の節減額を、基金に積立てようとするもの、3つ目として、学校職員の公務中の災害について障害認定があったため、災害補償費を増額するもの、4つ目に、その他として、工事請負費の入札残や消耗品費などの不用額が生じる見込みの事業費、また育児休業による幼稚園教諭の職員手当及び共済費を減額調整するものである。

項目が多いため資料は8ページに渡っているが、ただ今申し上げたもののうち4つ目の事業費及び人件費の減額調整についての説明は省略し、主なものについて説明をさせていただく。

それでは、資料は2ページの中ほど「人事財務課事務費」の箇所をご覧ください。

災害補償費として、3百万円余の増となる理由は、別々の小学校の用務員が平成24年及び26年において、それぞれ公務中に負傷し、その負傷により障害が残ったことが地方公務員災害補償基金及び岡山労働基準監督署により認定されたため、市の要綱に基づき公務災害見舞金等を支給しようとするものである。

次に、資料の4ページいちばん上、小学校の「耐震改修整備事業費」をご覧ください。

第5項小学校費の第1目学校管理費、耐震改修整備事業費の補正額のうち、9億6,753万8千円は、国の緊急経済対策を受け、西小学校及び小串小学校の2校において耐震改築工事を、津島小学校ほか4校において、耐震改修工事をそれぞれ前倒ししようとするものである。

また、同様に中学校においてであるが、資料は5ページの上から2番目をご覧ください。

第10項中学校費の第1目学校管理費、耐震改修整備事業費の補正額のうち、11億6,630万円は、小学校と同様に国の緊急経済対策を受け、妹尾中学校ほか6校において、耐震改修工事を前倒ししようとするものである。

次に、資料の8ページの下から2番目、「学校教育施設等整備基金運営費」をご覧ください。

第30項保健体育費、15目学校給食費、学校教育施設等整備基金 運営費の補正額5,235万円は、主に学校教育施設等整備基金への積立金 5,782万円であり、学校給食の民間委託による経費削減分ならびに預金利子を、基金へ積立てるための経費を計上しているものである。

最後に、資料9ページ3つの表をご覧ください。

資料の3-1、3-2は繰越明許費で、3-1は追加、3-2は変更である。まず、3-1「繰越明許費（追加）」について、ご説明申し上げます。

社会教育費の公民館建設事業の繰越明許は、操山公民館の実施設計費で、地元との協議に時間を要したため、1,800万円余を平成28年度に繰越ししようとするものである。

予算書の9頁「繰越明許費 補正」の「2変更」をご覧ください。資料3-2耐震改修整備事業の「変更」は、11月補正における経済対策で設定した、小学校18億円余、中学校1億円余に、このたびの経済対策としての前倒しや、工事の進捗や、学校等との協議に時間がかかったことなどによる24億円余を加えることにより、合計で44億円余を28年度に繰越ししようとするものである。

	<p>資料の4「債務負担行為」の追加をご覧いただきたい。</p> <p>債務負担行為とは、翌年度以降に市が債務を負担するものを予算の一部として、あらかじめ定めるものであるが、このたびの経済対策として、小串小学校の校舎の耐震改築工事を行うにあたり、平成29年度までの契約が必要となることから、額としては4億7,000万円余を、今回の補正の歳出額とは別に定めようとするものである。</p> <p>以上で、平成27年度岡山市一般会計補正予算(第5号)のうち、第10款教育費の教育委員会分についての説明を終わらせていただく。</p>
<p>委員長</p>	<p>○ これについて何かあるか。 一番多いものは耐震化関係で20億円程度か。 公務で負傷された方の状況はどうか。</p>
<p>人事財務課長</p>	<p>○ 1人は用務員の方であり、屋根の裏側の断熱材を撤去していたところ、脚立に上がろうとしていた先生が、その方の上に落ちてきたケースである。もう一人は屋上に置かれていたアンテナ線を片付けるため、屋上の出入り口から出ようとした際、雨で濡れていた床面で足を滑らせて転倒したケースである。</p>
<p>藤原委員</p>	<p>○ 準要保護の不用が目立つが、当初予算は少なくみて補正予算で対応する方法と、当初予算を多めにみて、補正予算で落とすのはどちらが良いのか。</p>
<p>人事財務課課長補佐</p>	<p>○ 政令指定都市移行後、財政的に余裕が出てきたため、前年等の積算を参考に考えている。不足を生じた場合、執行に間に合わなくなる恐れがあるため、補正予算で不用額を落としている。</p>
<p>委員長 全委員 委員長 こども企画総務課長</p>	<p>○ いかがか。 ○ &lt;承認&gt; ○ 報告第10号をこども企画総務課から報告願う。 ○ 平成27年度一般会計補正予算(第5号)案のうち、岡山っ子育成局分について説明する。</p>
	<p>平成27年度岡山市一般会計補正予算(第5号)案のうち、岡山っ子育成局分の教育費予算案への同意について、教育委員会に付議する時間的余裕がなかったため、平成28年3月3日に専決処理したものである。説明にあたっては、万円未満を省略して説明させていただく。</p> <p>主な補正内容は、第20項幼稚園費第1目幼稚園管理費9,932万円余の減額補正のうち岡山っ子育成局関係分は、7,422万円の減額で、幼稚園施設管理及び耐震改修整備等に係る不用額である。</p> <p>以上で、岡山っ子育成局関係分の説明を終わる。ご審議のほど、よろしくお願います。</p>
<p>委員長 全委員 委員長 スポーツ振興課長</p>	<p>○ いかがか。 ○ &lt;承認&gt; ○ 報告第11号をスポーツ振興課から報告願う。 ○ 平成27年度一般会計補正予算(第5号)案のうち、スポーツ振興課分の教育費予算案への同意について、教育委員会に付議する時間的余裕がなかったため、平成28年3月3日に専決処理したものである。</p>
<p>委員長 全委員 委員長 保健体育課長</p>	<p>資料13ページをご覧いただきたい。内容は、保健体育費、体育振興費のうち、学校施設開放事業にかかる、小学校2校の防球ネットのかさ上げ修繕等の入札残等による不用額250万9千円を減額補正するものである。補正後の額は、2,586万8千円となる。説明は以上である。</p> <p>○ いかがか。 ○ &lt;承認&gt; ○ 報告第12号を保健体育課から報告願う。 ○ 平成27年度岡山市学童校外事故共済事業費特別会計補正予算(第1号)案</p>

<p>委員長 全委員 委員長 教育企画総務課長</p>	<p>への同意について、教育委員会に付議する時間的余裕がなかったため、平成28年3月3日に専決処理したものである。</p> <p>前年度の剰余金34万円を歳入・歳出ともに1,322万5千円とするものである。以上で説明を終わる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ いかがか。</li> <li>○ &lt;承認&gt;</li> <li>○ 第6号議案を教育企画総務課から報告願う。</li> <li>○ 岡山市教育振興計画における施策の成果指標の目標値の改定について説明する。</li> </ul> <p>改定理由は、岡山市教育振興基本計画の計画期間の延長にともない、前期の施策目標達成年度が平成28年度末となったため、平成27年度末を達成年度としていた現在の施策の成果指標の目標値を改定する必要が出てきたためである。</p> <p>改定内容は、平成27年度末の施策の成果指標の目標値がすでに達成されているものについて、別紙の表のとおり上方修正を行った。</p> <p>表については、左から政策名、施策名、成果指標、最新の実績値、そして一番右に平成28年度末の目標値を示している。今回、最新の実績値をもとに平成28年度末の目標値を修正した。</p> <p>新たな目標値については、各担当課において全国平均を上回ることを目標としたものや今までの経年変化をもとに目標を設定したものなど、担当課を中心に設定している。</p> <p>修正したものについては、当初の目標値も掲載するようにしている。</p> <p>この目標値修正についてのご意見をいただきますようお願いする。</p> <p>なお、決定後はホームページ等で公表していく予定である。</p>
<p>委員長 藤原委員</p> <p>教育支援担当課長</p> <p>渡辺教育次長</p> <p>奥津委員</p> <p>教育支援担当課長</p> <p>委員長 教育支援担当課長 委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いかがか。</li> <li>○ 4-2の2「適応指導教室における不登校からの復帰率の上昇」であるが、1年延長されたことに伴い目標が100パーセントになっているが、確か岡山市が設けている適応指導教室の最初の基本コンセプトは学校復帰を目指すための施設だったと思う。しかしながらそれから何十年か経ち世の中の動きとしてフリースクールなど学校ではない選択肢が増えている。目標を100パーセントにすると余裕がないのかと考えられる。一人や二人は適応指導教室の環境で過ごした方がむしろ自立できるのではないか。</li> <li>○ 復帰率というものは、完全に学校に戻るという復帰率ではなく、少しでも登校する日数が増えるというようなことを目標にしている。そのため、必ず学校に戻すということではなく、適応指導教室に通いながら放課後登校するなど、少しでも学校と関わりを持っていこうという思いである。</li> <li>○ 1年延長したが、この100パーセントは平成27年度の目標値のままである。今後新たなものに改定する際、この数値の妥当性については、再度全体を検討していく必要はあると考えている。</li> <li>○ 1-1の1「暴力行為の発生度の減少」について、18.8という目標値はどう算出したのか。</li> <li>○ もともと本計画を立てたのが平成23年度か平成24年度であったが、その頃の暴力件数に基づいている。岡山市においては、平成22年度に暴力行為のピークだったので、それを半減させる目標であった。これから数カ年かけて全国平均に近づけていくよう目標設定した。</li> <li>○ 全国平均はどのくらいか。</li> <li>○ 中学校の全国平均は10.1である。</li> <li>○ 市の数値を何年かけて全国平均に近づけていくのか。</li> </ul>

教育支援担当課長 渡辺教育次長 奥津委員	○ 6年間である。 ○ 次の計画の終期にあわせるものである。 ○ 10パーセントに近づけるのは大丈夫だと思うが、10パーセント以下に下げるのは難しいと考える。
教育長	○ 締め付けだけでは暴力行為は減らないと思う。子どもたちが満足する学校作りをしていかなければならない。
藤原委員	○ 変に甘やかしたり、外へやったりするのではなく、卒業式の感想では、コミュニケーションが取れているのか、良い雰囲気であった。
委員長	○ いかがか。
全委員	○ <原案可決>

傍聴の状況		
報 一	道 般	1名 0名





平成28年3月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	平成28年3月25日（金）		
2 開会及び閉会	開会 14時58分		
	閉会 15時13分		
3 出席委員	委員長	東 條 光 彦	
	委員	奥 津 晋	
	委員	塩 田 澄 子	
	委員	藤 原 佳 代 子	
	委員（教育長）	山 脇 健	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	渡 辺 和 夫	教育次長	植 田 朋 哉
統括審議監（企画調整担当）	佐々木 辰 昭	審議監（教育人事財務担当） （人事財務課長事務取扱）	石 井 雅 裕
5 議題及び結果			
報告第13号 専決処理の報告（岡山市教育委員会事務局等職員の人事について）	承認		